



令和3年9月21日

報道機関 各位

東北大学グリーン未来創造機構

「福島復興支援室」設置により支援加速へ 復興×SDGsを推進するパートナーを目指す

【発表のポイント】

- 東北大学グリーン未来創造機構が、2021年9月14日(火)に「福島復興支援室」を新設
- 福島県の復興を積極的・包括的に支援・発信
- 安心・安全で持続可能な新しい時代の福島の創造を目指す

【概要】

東北大学グリーン未来創造機構は、2021年9月14日(火)に「福島復興支援室」を新設しました。

被災地とともに歩んできた東北大学は、これまでも福島県において様々な復興支援の取組を展開してきました。震災から10年が経過し、これまでの活動に加えて新たにSDGs等も視野に入れた幅広い取組を展開し、福島復興のためのパートナーを目指します。同室では今後、福島県並びに各市町村と共に、今抱えている課題等について、共に考え、解決に向けた活動を行っていきます。さらに、情報発信等を行い、社会との共創を目指す大学として、同県の復興の加速を支援していきます。

【詳細な説明】

東日本大震災から10年が経過し、今もなお、被災地の多くでは復興の途上にあります。地震、津波、原子力といった複合災害に見舞われた福島県においては、真の復興はこれからです。加えて、震災から10年が経過したからこそ浮かび上がってきた新たな問題も存在しています。

そのような状況において東北大学は、被災地とともに歩んできた大学として、グリーン未来創造機構^{*}のもとに新たに「福島復興支援室」を設置し、この10年に培ってきた知見、経験、教訓を生かしつつ、これまで以上に福島県の復興に尽力していくことを決意しました。

福島復興支援室には、福島県内をフィールドとして活動を行っている本学の教員等を配置し、今後県内市町村への聞き取り調査や大学シーズとのマッチング、情報発信等を行っていく予定です。また、同室の立ち上げにあたり実施した事前の学内調査では、汚染土壌等の減容・再利用技術の開発や水素エネルギーの活用など、福島県に関連する50件以上の取組が現在進行中であり、今後はそれらの取組の推進や、復興庁において現在検討が進められている国際教育研究拠点への積極的な参画などを通して、福島県の復興を支援していきます。

※東北大学グリーン未来創造機構…2021年4月に設置された組織。東北大学がこれまでに取り組んできた震災復興の活動や、東北大学の掲げるSDGsである「社会にインパクトある研究」等の活動をさらに発展させ、新たに「Green Technology」「Recovery & Resilience」「Social Innovation & Inclusion」の3つの柱のもと、あらゆる社会問題・環境問題を解決し、レジリエントで且つ人々が心豊かに生活することのできるグリーン未来社会の実現を目指して活動を行っています。(ホームページ <https://www.ggi.tohoku.ac.jp/>)



「福島復興支援室」

復興×SDGs を推進するパートナーを目指す



グリーン未来
創造機構
GREEN GOALS INITIATIVE

【問い合わせ先】

東北大学グリーン未来創造機構

担当（吉田(靖)、大友、諏訪）

電話：022-217-5009

E-mail: skk-green@grp.tohoku.ac.jp